



せたがや区議会だより

No.298

令和7年(2025年)1月1日
発行 世田谷区議会

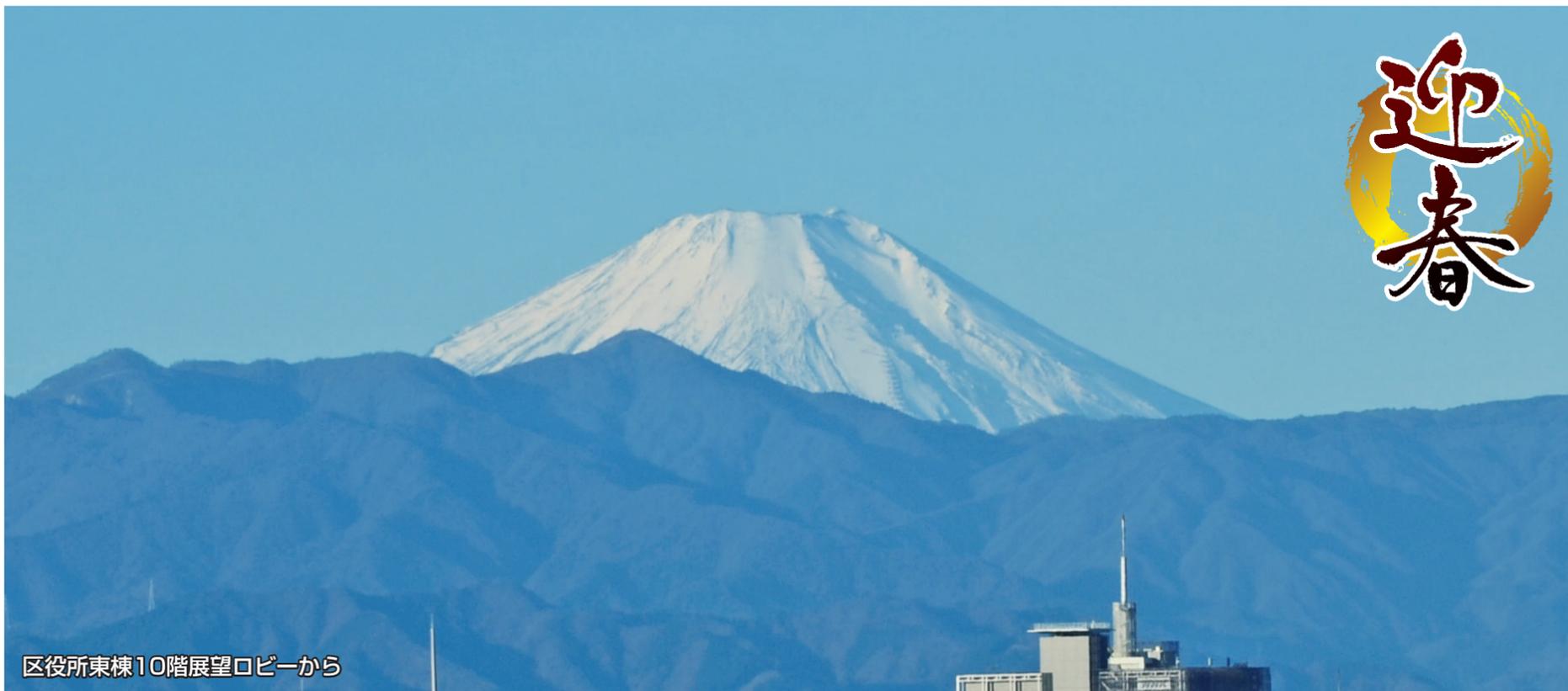
https://www.city.setagaya.lg.jp/gikai/index.html



〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 TEL(5432)2779 FAX(5432)3030

子ども・子育て施設物価高騰緊急 対策関連補正予算などを可決

第4回 定例会



区役所東棟10階展望ロビーから

新年のごあいさつ



世田谷区議会議長
おぎのけんじ

明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年、元日に起きた能登半島地震をはじめ、全国各地で発生した集中豪雨被害や連日続いた夏場の猛暑など、自然の猛威を痛感す

るとともに、事前の備えの重要性を再認識した一年でした。区では「せたがや防災ギフト」の全戸配付や備蓄物資の配設計画を策定するなど、災害対策に取り組んできました。区議会としても区民の皆様のご生命と財産を守るため今後も、より一層災害に強いまちづくりに尽力してまいります。昨年度の決算状況を見る限り、区は引き続き健全財政を維持しています。しかし、長引く物価高が地域経済に深刻な打撃を与えており、今後の区財政への影響は計り知れません。持続可能で強固な財

政基盤の確立は引き続き大きな課題です。また、加速する少子高齢化を踏まえた福祉施策の推進をはじめ、子育てや教育環境の充実、DXによる区民サービス向上などの区政課題も山積しております。区議会として行政経営改革を強力に推し進め、課題の解決に向けて力を尽くしていくことはもちろん、区議会が皆様にとってより身近なものとなるよう、開かれた議会づくりに向けて全力で取り組んでいく所存です。ご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から21件の案件が提出され、全て可決しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●6年度補正予算 1件

○一般会計(第四次) (全員賛成)

子ども・子育て関連施設への物価高騰緊急対策の実施や高齢者の新型コロナウイルス予防接種に係る自己負担額の軽減などに対応するため、歳入歳出予算それぞれに二億三九六万四千円を追加する。四次補正後の予算額は三七七億八一九六万九千円となる。

●条例の新設 1件

○一時保護施設の設備・運営基準条例 (全員賛成)
一時保護施設の設備や運営に係る基準を定める。

●条例の改正 13件

○手数料条例 (全員賛成)
区施設やコンビニの多機能端末機による証明書交付に係る手数料を7年2月1日から5月31日

○出張所設置条例 (全員賛成)

烏山まちづくりセンターの位置を南烏山6-4-26に変更する。

○介護保険条例 (全員賛成)

7年度分の保険料から普通徴収に係る納期の開始月を変更する。

○公園条例 (全員賛成)

中町三丁目丘の上公園(中町3-7-14)を新設する。

○子ども基金条例 (全員賛成)

条例名を子ども・若者基金条例に変更するとともに、基金を活用した支援事業の対象者を拡大する。

○産後ケアセンター条例 (全員賛成)

産後ケアセンターの大規模修繕工事後に代替施設から移転するため、施設的位置を桜新町2-29-16に変更する。

○区長等の給料条例

賛成 区長、公明、立憲、都民、虹、世田谷、国際、参政党、無所属
反対 行革、共産、生、風、維新

○監査委員の給与条例

賛成 区長、公明、立憲、都民、虹、世田谷、国際、参政党、無所属
反対 行革、共産、生、風、維新

○教育長の給与・勤務時間条例

賛成 区長、公明、立憲、都民、虹、世田谷、国際、参政党、無所属
反対 行革、共産、生、風、維新

○区議の報酬・費用弁償条例

賛成 区長、公明、立憲、虹、世田谷、国際、参政党、無所属
反対 行革、共産、都民、生、風、維新
以上4件は、期末手当の支給月数を改定することなど。

〈8ページに続く〉

党派名等

- 自 民 自由民主党世田谷区議団
- 公 明 公明党世田谷区議団
- 立 憲 立憲民主党いわし新選組世田谷区議団
- F 行 革 無所属・世田谷行革110番
- 共 産 日本共産党世田谷区議団
- 都 民 S 都民ファースト・国民民主・あした生
- 生 ネット生活者ネットワーク世田谷区議団
- 虹 レインボー世田谷
- 世 田 谷 世田谷無所属
- 国 際 国際都市せたがや
- 風 せたがやの風
- 参 政 党 参政党
- 維 新 新日本維新の会
- 無 所 属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

[令和7年(2025年)年頭に当たって]

議員の連絡先は
令和6年12月23日現在

自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとうございます。皆様には、日ごろから多大なるご指導、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

我々、自由民主党世田谷区議団は、物価高や激甚化する災害から皆様の生活やお仕事を守るために全力で取り組むとともに、一層安全安心で魅力あふれる街世田谷の実現に向け、皆様の声をしっかりと受け止め、各種施策の推進に尽力してまいります。具体的には以下の取り組みを進めてまいります。

- 物価高や資源高騰への対応を更に強化し、皆様の生活をお守りするとともに、区政改革を進めます。
- ①区民生活の支援強化(せたがやPay)による対策をはじめ、物価高騰から暮らしを守ります。
- ②地域経済の活性化(区内事業者

への経営支援、区内における起業・創業支援策を拡充します。)

- ③就労支援・就業環境向上(学び直しを応援するとともに、職住近接が可能な環境をつくります。)
- ④地域活動の推進(支えあい助けあえる地域の絆をつくります。)
- ⑤行政サービスのDX推進(各種手続きのオンライン化等、非来庁型行政を早期に実現します。)
- 生涯を通じたニーズにきめ細かく対応し、健やかに生活できる環境を整備します。
- ①スポーツ・文化の推進(スポーツの場の拡充、音楽や演劇等の文化活動を充実させます。)
- ②健康・長寿の推進(23区トップの健康長寿とともに、高齢になっても安心して住み続けられる世田谷を目指します。)
- ③感染症への万全な備え(保健所機能を強化し、医療機関への支援拡充等、医療政策を進めます。)
- ④若年層を応援(可処分所得を高く、



阿久津 皇
〒157-0073
砧8-2-24
☎080-3464-2911



石川 ナオミ
〒156-0056
八幡山3-23-26-102
☎5942-1285



おぎの けんじ
〒158-0093
上野毛4-13-11
☎090-4599-8946



加藤 たいき
〒154-0017
世田谷1-28-13-202
☎6674-2391



くろだ あいこ
〒157-0067
喜多見8-19-1-201
☎050-3635-9615



河野 俊弘
〒154-0023
若林1-16-1
☎6805-4054



坂口 賢一
〒154-0015
桜新町1-11-4
☎3429-4581



佐藤 正幸
〒157-0072
祖師谷6-11-5-101
☎6411-3124



宍戸 三郎
〒156-0043
松原3-42-2-4F
☎3323-7223



下山 芳男
〒154-0011
上馬4-2-5
☎3418-2869



山本 伸一
〒156-0041
大原1-16-3-112
☎090-1619-3320



真鍋 よしゆき
〒157-0063
粕谷4-20-18-206
☎3300-3940



山口 ひろひさ
〒158-0082
等々力5-4-2-602
☎3702-1819



和田 ひでとし
〒158-0083
奥沢1-40-2
☎3720-3542

め、单身でも結婚後も住み続けられる世田谷を目指します。)

- ⑤妊娠・出産・育児支援(妊活支援・一時預り事業の拡充等、産前産後のトータルな子育て支援を推進します。)
- ⑥障がい児・障がい者施策の推進(個人の特性に応じた支援の充実に努めます。)
- 生活を支える都市基盤の整備や、安全・安心な街づくりを進めます。
- ①都市基盤整備の推進(狭隘道路・開かずの踏切解消など、「世田谷の弱点」を克服します。)
- ②防犯・交通安全対策の強化(訪問型詐欺など凶悪化する犯罪や交通事故から皆様を守ります。)
- ③災害対策の強化(首都直下地震や大型台風到来に対し、万全な備えを構築します。)
- ④学校環境の整備(災害時の避難所にもなる学校の改築を年3校以上のペースで着実に実施するとともに、空調機器改修を進め酷暑から子ども達を守ります。)
- ⑤みどりの保全(美しい自然を守り、未来に継承します。)

日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとうございます。

今年(令和6年)は戦後80年、世田谷でも平和の宣言40周年の節目の年です。平和のための発信を大に行っていきたいと思います。日本共産党は憲法9条を守り、核兵器のない平和な世界のために力を尽くします。

物価高騰に賃金と年金が追いつかない、貧困と格差が広がっている



川上 こういち
〒158-0082
等々力2-5-11-102
☎090-8562-6989



坂本 みえこ
〒154-0004
太子堂4-5-2
☎090-1762-1417

都民ファースト! 国民民主・あらた

新年あけましておめでとうございます。本年も既存の枠組みにとらわれず、多様化する区民ニーズに対応する区政のアップデートを続けてまいります。昨年からの国政に大きなパラダイムシフトが訪れま



石原 せいじ
〒154-0017
世田谷1-29-14
☎070-8538-8242



佐藤 みき
〒156-0045
桜上水4-18-25
☎6379-8300



そのべ せいや
〒158-0097
用賀3-25-18
☎090-6939-7273



る中、区民の暮らしと営業を守り、年金削減、介護の危機、医療改善をくいとめましよう。

高齢者と若者・現役世代の「世代間対立」をおおることなく、社会保障を充実し、経済負担を軽減することが求められます。

災害に強い社会、気候危機対策、ジェンダー平等、あらゆる差別・ハラスメントのない社会、貧困をなくし、すべての人の人権が守られる社会をめざします。

生活者ネットワーク 世田谷区議団

謹賀新年。昨年は、能登地方をはじめ各地で大規模な自然災害に見舞われました。人類が引き起こした、暮らしを脅かす気候危機に本気で向き合う政策を進めます。世界では武力攻撃による市民の犠牲が止まらず、他者への攻撃や排除が急速に広がっています。終戦80年、平和都市宣言40年となる本年、真の平和とは何か、区民の皆さまと考え、行動してまいります。



おの みずき
〒154-0017
世田谷1-12-14 原ビル2階
☎3420-0737



関口 江利子
〒154-0017
世田谷1-12-14 原ビル2階
☎3420-0737

世田谷無所属

謹賀新年。自転車の安全利用・ゲリラ豪雨対策・図書館・高齢者施策・保育・教育等、本年も区民の皆様の立場に立ち、多くのの方の声を区政に反映させてまいります。本年もよろしくお願いたします。



うち ゆき
〒155-0033
代田3-26-6-305
☎6691-4985

国際が都市

謹賀新年。日本の子どもの精神的幸福度はOECD38カ国中37位。日本が幸せの追求を怠ってきた結果です。新「子どもの権利条例」を軸に、誰もがウェルビーイングを実感できる世田谷を目指します。



神尾 りさ
〒154-0003
野沢2-8-1
☎080-7113-4648

せたがやの風

新年おめでとうございます。

子どもから高齢の方まで、世田谷の街が希望に満ち、笑顔溢れる街であるよう全力を尽くしてまいります。明るい世田谷へ、新しい風を起こしていきましょう。



つるみ けんご
〒154-0003
野沢4-14-4
☎6322-0575

明けましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

明けましておめでとうございます。公明党は、女性や若者、高齢者をはじめ、障がい者、性的少数者、子育て世帯、単身者、社会の第一線で働く方々など性別や年齢職業、立場にかかわらず、全ての人の多様な生き方が尊重される「共に支え合う温かな社会」の構築をめざしてまいります。その為に、常に生活現場に足を運び、お一人お一人からお聴きした声を政治に届けてまいります。



河村 みどり
〒157-0061
北鳥山8-2-16-104
☎3307-4884



岡本 のぶ子
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
☎3427-0557



いたい ひとし
〒158-0087
玉堤1-16-28
☎090-3964-1419



高橋 昭彦
〒156-0044
赤堤2-30-12
☎3327-0443



佐藤 ひろと
〒157-0071
千歳台3-21-14
☎3482-7732



福田 たえみ
〒158-0094
玉川3-21-3-401
☎5797-9825



塚 けいじ
〒154-0022
梅丘2-8-9
☎3420-0240



上 仁志
〒154-0024
三軒茶屋2-28-11
☎5787-6162



次に、公明党世田谷区議団として優先して取り組む政策課題を申し上げます。

- ①物価高騰対策として、国の重点支援交付金を活用した「せたがやPay」のポイント還元事業を拡充。
- ②不断の行財政改革の推進。
- ③福祉人材など公益事業を担う人材確保の拡充とインフォーマルサービスへの支援の強化。
- ④災害対策の強化として、防災物資の供給体制の構築、避難行動要支援者対策の着実な推進、避難所の環境整備などの取り組みを推進。
- ⑤全ての児童・生徒の学習環境を整備するとともに、「教員の働き方改革」の着実な推進。
- ⑥地球温暖化対策の推進。

区民の皆様にとって良い一年となりますことをお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

立憲民主党・れいわ新選組 世田谷区議団

能登半島地震より一年、改めて被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。すべての方が穏やかな毎日を過ごせるよう努めてまいります。私たちの会派では「人を大切にする区政の実現」を最優先に掲げ、誰一人取り残さない災害対策を求めるとともに、長引く物価高騰、経済の停滞と格差拡大を鑑み、持続可能な地域経済の発展を生み出し自己責任に頼らない社会づくりを目指します。依然、人材確保が困難な介護や教育現場への支援を強化し、地域課題の解決に資する施策の展開を求めてまいります。

平和、人権、民主主義といった普遍的価値を土台に、誰もが自分らしく社会の一員として共に生きることをできるインクルーシブ社会の実現に向けて尽力いたします。その他具体的に、以下の項目につき予算要望を行ってまいります。

■企画総務領域（ふるさと納税対

無所属・世田谷 行革 110番

迎春。私たちは税金のムダ遣い、行政の不正などをただす旗のもとに結集した、大庭正明、田中優子、桃野芳文、ひえしま進の4名からなる交渉会派です。政治パフォーマンス最優先の保坂区長と対峙し、具体的かつ現実的な施策を提案しています。一期工事竣工後も設計変更などで費用が膨張し続ける区



田中 優子
〒156-0043
松原4-34-20-309
☎3322-8131



大庭 正明
〒157-0063
粕谷3-15-3
☎3307-1179



桃野 芳文
〒157-0066
成城4-33-2-202
☎6751-1781



ひえしま 進
〒156-0055
船橋5-14-7
☎080-4806-9024



中塚 さちよ
〒156-0054
桜丘2-24-13-101
☎3429-6078



桜井 純子
〒157-0062
南鳥山6-8-7 3階
☎3326-1321



オルズグル
〒154-0004
太子堂5-16-9 2F
☎070-8817-4400



羽田 圭二
〒158-0092
野毛3-6-22
☎3702-3550



中山 みずほ
〒154-0015
桜新町1-25-25
☎080-4634-2547



みや かおり
〒157-0062
南鳥山5-29-7
☎070-2636-5022



藤井 まな
〒154-0012
駒沢2-12-1
☎080-1085-3624



原田 竜馬
〒155-0031
北沢3-27-4 立木ビル2F
☎090-4619-0989

策、区内労働環境の改善、若者の区政参加推進など

■区民生活領域（住宅改修支援、区内商業支援、都市農地の保全、気候変動・エネルギー対策など）

■福祉保健領域（高齢者見守り体制の拡充、障害児・者の地域生活への支援、虐待の防止、保育サービス拡充及び質の向上など）

■都市整備領域（地震・風水害対策、居住支援の拡充、交通不便地域の解消など）

■文教領域（インクルーシブ教育の推進、教職員等学校現場の労働環境改善、部活動への支援など）

国政・都政とも連携し、政策実現に鋭意取り組んでまいります。本年もよろしくお願いたします。

レインボウ 世田谷

迎春。一人会派の議員でも条理を尽くした議論で多くの成果が上げられます。本当に困っている人ほど声を上げることが難しい。マイノリティだった体験を伸びやかに暮らせる社会づくりに活かします。



上川 あや
〒156-0051
宮坂2-26-24-203
☎5799-7765



参政党

謹賀新年。今年も繋ぐをテーマに、①世代を超えて教育で地域を繋ぐ。②次世代に素晴らしい日本を繋ぐ。③正しい情報で区民と行政を繋ぐ。皆様希望を持って生きていける街づくりに取り組んでまいります。



岡川 大記
〒158-0092
野毛1-3-15
☎080-3762-9187

日本維新の会

新春を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。昨年のご支援に感謝し、本年も動物福祉、DX、防災力向上、創業支援、芸術文化等の更なる発展を目指し地域のために尽力してまいります。



若林 りさ
〒154-0004
太子堂2-17-5 佐藤ビル3階
☎070-9086-6513

無所属

迎春。本年も、子どもが輝き、認知症の方が自分らしく暮らせる世田谷の実現に向け尽力します。また保護司や民生児童委員を初め、日々地域を支えている方々を応援する取組みを推進してまいります。



青空 こうじ
〒156-0041
大原1-39-1
☎3485-2726

代 表 質 問

11月26日及び27日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議員
山口ひろひさ

HPVワクチン接種助成の継続

質問 子宮頸がんの予防に有効なHPVワクチンの無料接種期間は6年度末までだが、ワクチン不足などで接種が進んでいない。接種費の助成を7年度も継続せよ。

保健所長 希望者が接種機会を逃さぬよう総合的に判断し対応する。

災害用医薬品の必要量の確保

質問 災害用医薬品の備蓄が市場の供給不足により不十分と聞く。区民の命を守るため、同等の効果が見込めるジェネリック医薬品などの備蓄について柔軟に対応せよ。

保健所長 代替薬品の調達など不足状態の早期解消に向け取り組む。

マンションでの防災力の向上

質問 区内の約半数の世帯が住むマンションの防災力の向上は、災害対策上重要だ。在宅避難の推進など災害対応力の強化に向け、管理組合に対する支援を強化せよ。

危機管理部長 アンケート調査などを行い効果的な施策を検討する。

若者世代の地域活動への参加促進

質問 少子高齢化や人口減少を背景に地域コミュニティが弱体化している。地域の活力を取り戻すため、商店街のイベントなどを通じて若者世代の地域活動への参加を促せ。

区長 幅広い世代が集う場の確保に努め若者の地域参加を推進する。

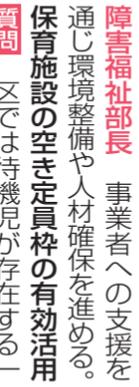
介護に携わる家族への支援の充実

質問 要介護者の在宅生活を支える同居家族への支援は重要だ。介護施設でのショートステイの活用を促すとともに、施設を運営する事業者の人材不足解消に取り組め。

副区長 あんすこ*などでの気づきの感度を上げ、施設の利用を促す。

障害者に寄り添う地域の構築

質問 障害者が安心して暮らせる環境の整備に一層注力すべきだ。親亡き後対策や障害者施設における人材不足の解消、重度障害者向け施設の整備などを着実に進めよ。



自由民主党世田谷区議員
谷野ひろと

障害福祉部長 事業者への支援を通じ環境整備や人材確保を進める

質問 保育施設の空き定員枠の有効活用

副区長 区では待機児が存在する一方、施設の欠員も目立つ状況だ。空き定員枠を活用し、待機児解消に加え誰もがいつでも保育サービスを利用できる世田谷を実現せよ。

副区長 空き定員枠を活用し未就園児預かり事業の充実などを図る。

私立幼稚園への支援の拡充

質問 私立園では定員割れが深刻化しており園運営は大変厳しい。

副区長 区立園の集約化に伴い配慮を要する子どもの受入拡大が求められていることから支援を拡充せよ。

子ども・若者部長 園との意見交換を重ね支援策の充実などを検討する。

子ども条例改正への区のビジョン

質問 全ての子どもへの権利が保障され、希望を抱き、安全安心に成長できる世田谷を築くべきだ。区は子ども条例改正によって子どもを取り巻く環境をどう変えるのか。

区長 子どもの権利が当たり前前に保障されるよう意識啓発に努める。

公共施設のバリアフリー化の推進

質問 区民活動の拠点である地区会館には半数以上の施設にエレベーターが設置されておらず、足が不自由な方への配慮に欠けている。誰もが利用できるよう改善を急げ。

副区長 物理的な課題を検証し安全安心に利用できるよう取り組む。

道路整備事業の着実な推進

質問 道路は平時から災害時まで様々な機能を果たす重要な社会基盤だが、区の整備率は23区の中でも極めて低い。区は十分な予算と人員配置を行い整備に全力を注げ。

区長 必要となる体制の構築や予算の確保を図り区一丸で推進する。

経験豊富な退職教員の活用

質問 副校長は幅広い業務を担っており多忙を極めている。負担の軽減と教育の質の向上を図るため、定年退職した経験豊富な教員を区独自に採用し全校に配置せよ。

教育長 経験豊富な教員の力が必要であり、計画的に採用を進める。



自由民主党世田谷区議員
佐藤ひろと

せたがやベイによる物価高騰対策

質問 長引く物価高騰から区民生活を守るため、更なる地域経済対策を講じるべきだ。国の重点支援地方交付金を活用し、せたがやベイの20%ポイント還元を実施せよ。

経済産業部長 効果的なポイント還元事業の実施を検討していく。

教員の働き方改革の見える化

質問 教員の働き方改革を迅速かつ適切に進めるべきだ。業務負担軽減の実効性を高めるため、効果が最も現れる教員の時間外勤務の変化を見える化し成果を示せ。

教育長 勤務時間や負担感の変化など、働き方改革の可視化を図る。

私立保育園の存続に向けた対策

質問 私立園では定員割れにより経営難に陥るケースが増えており対策は急務だ。保育需要を踏まえ、区立園がゼロ歳児定員の調整弁になり、経営の安定化を支援せよ。

子ども・若者部長 7年度からゼロ歳児の年度内での定員調整を行う。

青少年交流センターの拡充

質問 青少年交流センターは子どもたちの居場所として孤立や孤独を防ぐ重要な機能を持つが、世田谷地域、烏山地域への設置が一向に進まない。早急に整備せよ。

副区長 7年度から子ども・若者総合計画において考え方を示す。

将来を担う若者の区政参画の促進

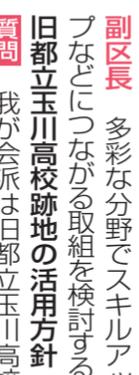
質問 区は若者が議論し区に提言を行う会議体を設置予定だ。若者が主体的に臨めるよう関心が高い施策を議題とし、立案した取組を実行するための予算も付与せよ。

子ども・若者部長 主体的に参画し達成感につながる手法を検討する。

リスギングの支援拡充

質問 企業人材のスキル向上につながるリスギング支援を拡充すべき。新たな産業活性化拠点では工業・農業・建設業の各分野で学び直しに取り組みの場を創出せよ。

教育長 経験豊富な教員の力が必要であり、計画的に採用を進める。



自由民主党世田谷区議員
谷野ひろと

多彩な分野でスキルアップなどにつながる取組を検討する

副区長 旧都立玉川高校跡地の活用方針

質問 我が会派は旧都立玉川高校跡地活用について健康増進・温浴機能を伴う多世代交流複合施設整備を求めた。所有者である都と実現に向けた協議を進めよ。

政策経営部長 全区的な視点で活用方針を検討し都と協議していく。

プロスポーツを楽しめる施設整備

質問 地元プロスポーツチームがあることは地域への愛着を深める契機となる。区内へのチーム誘致に向け大蔵運動場の再整備ではプロスポーツを行える仕様とせよ。

スポーツ推進部長 見るスポーツの視点や収益性など多角的に検討する。

選挙の投票機会の拡充

質問 移動に不安のある方が安心して投票できる環境を整えるべきだ。駅周辺などの利便性の高い民間施設にも投票所を設置せよ。

選挙局長 適したスペースがあるかを調査し、実現の可能性を探る。

本文中では左記の省略表記(*)を使用しています。

*あんすこ=あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)

*清掃一組=東京二十三区清掃一部事務組合



自由民主党世田谷区議員
藤井まな

7年度予算編成に係る区長の姿勢

質問 7年度予算はインクルーシブ社会の実現に向けた政策はもちろん、単身高齢者への支援強化などの福祉施策にも重点を置いて編成すべきだ。区長の考えを示せ。

区長 6つの重点政策の推進や経営資源の有効活用を念頭に進める。

清掃職員の採用方針

質問 ごみ収集などを担う清掃職員の新規採用人数は少なく、平均年齢が上昇している。技能の継承や災害時の万全なごみ処理体制を構築する視点から採用数を増やせ。

区長 災害対応も視野に入れ、清掃職員を計画的に確保していく。

マイナ保険証移行への理解促進

質問 マイナ保険証への移行に不安の声は多い。区は自治体の裁量で設定できる資格確認書の有効期間を最大の5年にするなど、区民の理解を得られる対応策を進めよ。

保健福祉政策部長 広報に努め不安や混乱が生じないように取り組む。

防災カタログギフトの効果検証

質問 防災カタログギフト配付事業の検証結果を更なる災害対策につなげることが重要だ。在宅避難への区民意識がどう変化したかなどを今後の災害対策に十分生かす。

危機管理部長 アンケート結果を基に共助の取組を促進する。

教員の働き方改革の推進

質問 教員が子どもと向き合う時間を十分に確保するため早急に働き方改革を推進すべきだ。国に先駆けて業務負担の軽減策を講じよ。

教育長 学校徴収金の事務負担軽減など、具体的な取組を進める。

学校での暑さ対策の抜本的な改善

質問 今夏に講じた学校での暑さ対策は十分効果を発揮したのか疑問だ。暑さで子どもが体調を崩さないよう、抜本的な対策を講じよ。

警察・護学警備 効果的な暑熱対策に向けて分析や検証を進めている。



無所属・世田谷行革110番
田中優子

闇バイトへの加担防止策

質問 高収入などの甘い言葉につられ、軽い気持ちで闇バイトに手を染める若者が増えている。呼称を「闇犯罪バイト」に変えるなど、犯罪であることを明確に発信せよ。

区長 犯罪であることを強く発信し犯罪の起きにくい環境を整える。

闇バイト強盗から区民を守る対策

質問 闇犯罪バイトの強盗から区民を守る対策を早急に講じるべきだ。防災カタログギフト事業の執行残金等を財源に戸建て住宅への防犯カメラの設置費を助成せよ。

危機管理部長 助成制度の実現の可能性を含め効果的な対策を探る。

学校改築の着実な推進

質問 建築資材の高騰や建築業の人手不足が深刻化している。区は年間3校ずつの学校改築を計画しているが、本当に実現できるのか。

警察・護学警備 改築工法を見直すなど入札不調の防止に努めている。

火葬場を建設する際の費用負担

質問 5年度の議会で火葬場建設を求める陳情が全会一致で趣旨採択されたことを受け、速やかに検討を進めるべきだ。建設に当たり、国や都の補助金は活用できるのか。

地域行政部長 都市計画交付金や都区財政調整交付金を活用できる。

火葬場建設に対する区民理解

質問 住民の理解を得なければ火葬場建設を進めることはできない。区内に建設する場合、どのような設計を想定しているのか。

地域行政部長 斎場を伴わなければ、しつらえも小規模にできる。

展望ロビーの利用環境の充実

質問 新庁舎の東棟10階では景色を眺められる展望ロビーが開放されている。訪れた方が一層楽しめるよう、目の前に見える風景を紹介する案内表示を早急に設置せよ。

庁舎整備担当部長 景色を案内する二次元コードの設置を検討している。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索!



日本共産党世田谷区議員
川上 こういち

誰一人取り残さない区政の推進

質問 国が進める社会保障の高齢者負担増と給付減が世代間分断を助長している。区民に身近な区は様々な計画で示す「誰一人取り残さない区政」をどう実現するのか。

区長 変化へ柔軟に対応する組織体制と人材育成により実現を図る。区施設使用料の見直しの再考

質問 物価高で区民生活が厳しい今、施設使用料の3割値上げはあまりにも急激だ。区民意見を幅広く聞き据置きや引下げも考えよ。

政策経営部長 様々な意見を踏まえて料金設定について判断する。現場の声を生かした公契約条例

質問 労働条件や経営環境の改善を目指す公契約条例の制定から10年がたつ今、区は実態把握のため事業者や労働者へのアンケートを実施する。結果をどう生かすのか。

財務部長 公契約適正化委員会へ報告し条例の実効性確保に生かす。労働条件確認帳票の運用見直し

質問 区が契約の相手方に求める労働条件確認帳票だけで労働環境を確実に把握できるか疑問だ。公契約条例の一層の浸透に向け下請や孫請事業者へも提出を求めよ。

財務部長 近々行うアンケートの結果も見て帳票の運用を検討する。福祉困難ケースへの体制づくり

質問 緊急対応を含めた福祉の困難ケースに対応するため、区は専門職による特別支援チームを設置する。現場のノウハウを豊富に持つ介護指導職をメンバーに加えよ。

副区長 現場の職員へ効果的な助言ができる人材の構成を検討する。

上野毛・野毛地区の浸水対策 大型台風による上野毛・野毛地区の浸水防止対策

質問 下野毛排水ポンプへのポンプ設置を計画 중이다。早期整備を求めよ。

技監 早期の整備実現を要望することにも都と連携協力して進める。

一般質問

11月27日及び28日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



佐藤 正幸 (自民)

違反広告物への対策の強化

質問 路上で散見される広告の貼られたカラーコーンは道交法に違反しており撤去が可能だ。まちの美化を担う違反広告物除去協力員の手引を改善せよ。

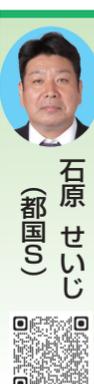
答弁 協力員向けの手引で分かりやすく周知できるように工夫する。

富士山の噴火による被害想定 富士山が噴火した場合、火山灰が0.3cm積もただけで雨が降った際に停電が発生し、30mで二輪駆動車が走行不能になると予測されている。区の被害想定を明示せよ。

答弁 火山灰が2、10cm程度積もり、広い範囲で被害が想定される。学校での間バイト対策の強化

質問 IQが正常域と障害の境にある境界知能の子どもが、多発する間バイトによる犯罪に利用されているとの指摘がある。子どもを守るため学校での対策を強化せよ。

答弁 保護者や教員、福祉部門などが連携し、未然防止に努める。



石原 せいじ (都国S)

中小企業への支援の拡充

質問 経済を支える中小企業が休業により減少しており、対策は急務だ。販路拡大や事業再構築など経営の安定化に向けた支援を拡充することにも支援策を周知せよ。

答弁 補助事業の実績などからニーズを把握し施策の充実に努める。

区内農業振興への仕組みづくり 区内農産物「せたがやそだち」を使用したビジネスプランコンテストは、新たな事業を生み出し区内農業の発展に大きく寄与する。今後どう取り組むのか。



桜井 純子 (立憲れ)

真のインクルーシブ教育の実現

質問 区は各校のインクルーシブ教育を支援するチームを立ち上げる。特別支援教育との違いを捉えた支援となるよう専門的知見を持つスーパーバイザーを配置せよ。

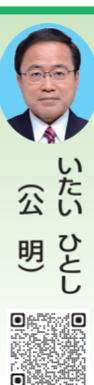
答弁 外部の専門家に助言を受けながら一歩ずつ取組を推進する。

支援困難ケースへの対応力強化 区は福祉緊急対応などに当たる際に専門的な知見で助言などを行うチームを新設する。特に重要なアセスメント力を高めるため構成メンバーに介護職を加えよ。

答弁 医療や介護技術など各種専門職を加えた構成を検討している。

平和事業の更なる推進 せたがや未来の平和館が10周年を迎える今、平和事業を一層前進させるべきだ。専門員が能力を生かせる環境整備や平和学の視点を取り入れた事業に取り組み。

答弁 専門員の能力を生かしながら平和学の視点も踏まえ推進する。



いたい ひとし (公明)

アダプティブファッションの普及

質問 既製品の衣服が体に合わず、不便を感じている方は少なくない。区は障害者や妊婦など誰もが着やすい衣服「アダプティブファッション」の普及促進に注力せよ。

答弁 当該衣服を扱う事業者への補助など官民共創の取組を進める。認知症診断費用への補助の創設

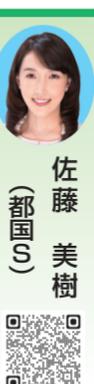
認知症の重症化を防ぐには

質問 早期発見、早期治療が重要だが、高額な診断費用が受診控えの要因となっている。受診促進に向け、診断費用の補助制度を創設せよ。

答弁 早期の発見や対応への強化に向け医師会とも連携し検討する。

バス路線を維持する仕組みの構築 区内ではバス路線の廃止や減便が相次いでおり対策は急務だ。路線の存続に向け、バス事業者や沿線住民などが参画して地域公共交通を維持する仕組みを構築せよ。

答弁 多様な主体との連携、協働により運行維持への検討を進める。



佐藤 美樹 (都国S)

自然エネルギーの新技术の導入

質問 従来の太陽光パネルよりも柔軟で軽量のペロブスカイト太陽電池が次世代の発電技術として注目されている。脱炭素の取組として区施設への導入を検討せよ。

答弁 メーカーに接触するなど区施設への調達方法を模索する。

選挙ポスター掲示板の再利用 選挙の際に設置されるポスター掲示板の再利用を一層進めよ。環境教育やシチズンシップ教育推進の観点から、学校での活用が進むよう積極的に取り組め。

答弁 子どもが選挙に関心を持つきっかけとなるよう広く周知する。

中学校への防災ヘルメットの配備 災害時には各自が防災頭巾をかぶって避難する小学校と異なり、区立中には生徒を守る道具の備えがない。災害から生徒の命を守るためヘルメットを配備せよ。

答弁 配備の実現に向け、財源の確保など関係所管で調整を図る。



神尾 りさ (国)

学校施設を活用した地域づくり

質問 放課後や休日の学校施設は学校教育法に照らせば地区会館などと同等に使えるはずだ。学校を地域づくりの拠点に位置づけ多様な人が利用できる環境を整えよ。

外国人の住民税滞納問題の現状

質問 外国人の住民税の滞納が全国的に問題となっており、多くの自治体が徴収に苦慮している。区では5年度の徴収率、差押え件数、滞納額はどのような状況なのか。

答弁 区全体での集計になるが、99.2%、334件、約25億円である。

ミドル期シングルへの区認識 35〜64歳までの単身者「ミドル期シングル」は増加傾向にあり、今後この層が孤立せず生涯にわたり安心して暮らせる地域づくりが必要だ。区の認識を示せ。

答弁 地域参加につながる「コミュニティづくり」が必要と考えている。

公園のバリアフリー化の徹底 区内には深沢7-14遊び場のように、ユニバーサルデザインに準拠していない公園等はいくつあるのか。今後取り残された場所はないのか。整備していく考えか。

答弁 15箇所あり、公園改修の機会などを捉え工夫して取り組む。



ひえしま 進 (F行革)

外国人の住民税滞納問題の現状

質問 外国人の住民税の滞納が全国的に問題となっており、多くの自治体が徴収に苦慮している。区では5年度の徴収率、差押え件数、滞納額はどのような状況なのか。

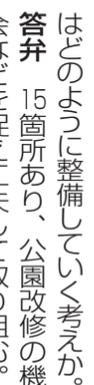
答弁 区全体での集計になるが、99.2%、334件、約25億円である。

ミドル期シングルへの区認識 35〜64歳までの単身者「ミドル期シングル」は増加傾向にあり、今後この層が孤立せず生涯にわたり安心して暮らせる地域づくりが必要だ。区の認識を示せ。

答弁 地域参加につながる「コミュニティづくり」が必要と考えている。

公園のバリアフリー化の徹底 区内には深沢7-14遊び場のように、ユニバーサルデザインに準拠していない公園等はいくつあるのか。今後取り残された場所はないのか。整備していく考えか。

答弁 15箇所あり、公園改修の機会などを捉え工夫して取り組む。



青空 こうじ (無所属)

せたがや未来の平和館の充実

せたがや未来の平和館では

質問 開館10周年を記念して展示をリニューアルすると聞く。平和への取組の充実に向けて、どのような展示の内容を検討しているのか。

答弁 来館者が平和とは何かをより身近に感じられるよう工夫する。

将来を担う子どもへの平和学習 戦争を起ささないためには将来を担う子どもたちに対する意識啓発が大切だ。せたがや未来の平和館では、子どもが平和や戦争と向き合える体験を拡充せよ。

答弁 平和に関するボードゲームなど体験型の事業を展開予定だ。

川崎市の平和資料館との連携強化 恒久的な平和の実現に向けては、自治体の枠を超えた連携交流も重要だ。区と同様に平和への取組に力を入れている川崎市の平和館との交流事業を拡充せよ。

答弁 効果的な展示について意見交換するなど、連携交流を進める。



上川 あや (虹)

不登校に多い起立性障害に配慮を

質問 区が新設する不登校特別校の登校時間は朝9時だが不登校の3〜4割に朝弱い起立性調節障害は併存するとされ合理的配慮の欠如は明らか。後ろ倒しできないか。

答弁 他自治体では昼間部と夜間部の併設例もあり検討対象とする。

夜間中学も不登校生徒の選択肢に 国は令和元年通知で不登校学齢生徒の夜中での受入れも可と方針転換したが、区立夜中は排除したままだ。学びを保障する見地から、その通学も可とするべきだ。

答弁 他自治体の事例などを参考に、具体的な申請ごとに検討する。

有為な人材を取り戻す復職制度を 先の議会で職員の育児と仕事の両立困難を取上げたが直近の人事委員会報告も、やむなく退職した職員の復職制度を「検討された」とした。ならばぜひ導入を。

答弁 経験者の復帰は貴重な機会であり円滑な実施に向け取り組む。

問 質 一 般



中里 光夫
(共産)

紙の健康保険証廃止への区の対応

質問 国が進めるマイナンバーカードと保険証の一本化で区民の混乱は必至だ。トラブルを防ぎ医療を受ける区民の権利を守るため、区としてできる対策に尽力せよ。

答弁 区のコールセンターやホームページでの説明と周知に努める。

学校施設の改修計画の策定

質問 省エネ断熱化やバリアフリー化、空調更新や教室不足など各校は様々な課題を抱えている。どの学校にどれだけの課題があるかを明確にし計画的に改修を進めよ。

答弁 現況把握に努め教育と営繕部門が連携し着実に改修を進める。

下北沢エリアマネジメントの推進

質問 下北沢駅周辺のまちづくりを協議するエリアマネジメントの取組が始まった。一部に偏りず地域の様々な関係者の意見を聞き、参加しやすい場となるよう進めよ。

答弁 地元の団体や企業が連携した下北沢らしい取組を支援する。



畠山 晋一
(自民)

子宮頸がんワクチンの接種促進

質問 我が会派は子宮頸がんから区民の命を守るため、HPVワクチンの接種促進への取組を求めてきたが、いまだ接種率は低調だ。接種率の向上にどう取り組むのか。

答弁 積極的な周知啓発と医師会などと連携し接種率の向上を図る。

23区内への火葬場の建設

質問 臨海部広域斎場組合によれば、世田谷を含む関連5区の死亡者数が200年代にピークを迎える。火葬場の不足を見据え、都や23区と連携し火葬場の新設に取り組み。

答弁 他自治体の状況や法令を精査し都や他区へ新設を働きかける。

ペット防災の推進

質問 人と動物との共生を掲げる区として災害時にペットの安全を守る防災対策にも注力すべきだ。



原田 竜馬
(立憲れ)

子どもの貧困対策の充実

質問 親の経済状況による体験の格差が生じないよう福岡市の習い事への費用助成や鎌倉市の体験プログラムへの電子ポイントの付与など、経済的な支援を実施せよ。

答弁 子どもの育ちに必要な体験の機会を保障する支援を充実する。

困難を抱える高校生世代への支援

質問 高校生世代の抱える問題は多様化しており、きめ細かな支援が求められている。困難を抱える高校生世代の学習面や生活面を包括的に支援する体制を構築せよ。

答弁 高校生活や進路の悩みにも対応可能な支援策を検討する。

自分を見つめ直す生涯学習の実施

質問 予測が困難な時代である今、自分の進む道を安心して見つけられる環境を整えるべきだ。学び直しや他者との交流を通じ自分を見つめ直す生涯学習の場を創出せよ。

答弁 あらゆる世代の生涯学習が進むよう環境の整備に取り組む。



関口 江利子
(生ネ)

配慮が必要な児童生徒への支援

質問 通常の学級の子どもへ向け支援チームの定期巡回が始まる。構成員には、学校生活のつまずきを身体面・心理面から工夫により改善する作業療法士が必要だ。

答弁 今後、関係諸機関に在籍する作業療法士との連携を検討する。

だれもが通える学校環境の整備

質問 すべての子どもを学びを保障するには、学校環境をインクルーシブな視点で整えるべきだ。学校が主体的に環境改善に取り組むよう区教育委員会から働きかけよ。

答弁 様々な好事例を共有するなどして現場の意識向上につなげる。

清掃工場建て替えへの区民参加

質問 故障・休炉が続いた世田谷清掃工場の建替えが8年度から始まるが、区民参加・情報提供が不十分だ。周知徹底と区民の意見反映の仕組みを清掃一組に求めよ。

答弁 他自治体の取組などを参考に検討するよう清掃一組に伝える。

性犯罪被害者への支援体制の強化

質問 新たな犯罪被害者等支援条例に、緊急避妊の支援が含まれた点を評価する。性暴力の実態や背景等を理解し、相談者に寄り添った医療機関との連携体制を構築せよ。

答弁 医師会に条例の基本理念などを説明し連携体制の構築を図る。

女性の参画による防災備蓄の充実

質問 防災・復興分野の女性の参画促進が重要だ。区が養成する女性防災コーディネーターに備蓄内容の点検と改善提案を求め、多様なニーズに対応する備蓄を進めよ。

答弁 意見を聞く機会を設けるなど避難所環境の改善に取り組む。

意思決定の場の男女同数を原則に

質問 区は国連女性差別撤廃委員会の勧告を受け止め、2030年までに女性管理職比率50%を達成すべきだ。次期特定事業主行動計画に実現に向けた具体的な取組を盛り込め。

答弁 国連や国の情勢も参考に次期計画で目標の再設定などを行う。

フリーランスへの支援強化

質問 フリーランスの労働環境を向上するため、発注者との取引の適正化を図る法律が施行された。両者に法の理解促進を図るとともに、フリーランスを一層支援せよ。

答弁 セミナーの実施など適切な受発注につながる取組を検討する。

家庭教育への支援の充実

質問 いじめなどの問題の解消には、保護者が家庭の中で他者への思いやりや倫理観を子どもに伝えることが重要だ。家庭の教育力を向上させるための支援に注力せよ。

答弁 関心が高いテーマの動画提供など保護者の学びを支援する。

消防団員の確保策

質問 地域防災の要である消防団の担い手が減少しており対策は急務だ。女性や学生の加入促進を図るとともに、他自治体に倣い、外国人の加入についても検討せよ。

答弁 加入促進に一層努め、外国人については都の動向を注視する。

新庁舎レストランの不可解な貸付

質問 区は新庁舎レストランの事業者選定に当たり、厨房のみを業者に貸す不可解な方針を示した。賃料を取らない飲食スペースには自由に飲食物を持ち込めるのか。

答弁 貸付区域ではないため注文した物を食べる場所に限定しない。

新庁舎レストランの設計への疑義

質問 区は事業者選定の不調をおそれ、賃料を下げるため厨房のみを貸す魂胆のようなが、賃料が高額になることは設計時にかかったはずだ。考えずに設計したのか。

答弁 区民交流機能の充実や区の収入確保の観点から規模を決めた。

議会軽視も甚だしい区の姿勢

質問 区は新庁舎レストランの事業者選定において、所管委員会での説明とは異なる仕様で事業者募集を開始し議会を欺いた。議会軽視と言え一連の行動を猛省せよ。

答弁 変更点について詳しく説明できず反省すべきと考えている。

施設使用料値上げの見送りを

質問 物価高で区民生活が厳しい中、区は施設使用料を値上げする方針だ。区民の活動の場である施設の現時点での値上げは保坂区政の基本姿勢に反するのではないか。

答弁 将来にわたり施設機能を維持するために必要と考えている。

高齢者のくつろげる居場所問題

質問 区は高齢者がくつろげる居場所について「地区展開の実現に近づける」と表明しているが、取組が一向に見えない。今後の展望と具体的なスケジュールを示せ。

答弁 居場所事業の拡充や地区資源を総合的に捉えた検討を進める。

学校の危機管理対応の見直しを

質問 児童の水筒への異物混入から保護者への報告まで1週間も要した事案は、適時適切な対応とは言い難い。保護者への連絡等を含め危機管理対応を全面的に見直せ。

答弁 学校安全対策マニュアルに事案を載せるなど意識向上を図る。

被爆地への小中学生派遣の実現

質問 次世代への継承が課題の中、被爆の実相に触れる学びは貴重な機会である。広島市や長崎市が提供する平和学習の小中学生派遣を実現すべきだ。区長の見解を述べ。

答弁 子どもたちが当該プログラムに参加できるよう協議を始める。

障害者の余暇活動支援の充実

質問 障害者の余暇活動の場が少ない現状から、日中一時支援の補助を受けずに自主事業で取り組んでいる事例もある。実態を調査し必要な補助と新たな施策を進めよ。

答弁 実態を把握した上で適切な補助額について引き続き検討する。

介護人材確保への区独自の支援策

質問 都は介護人材の確保と定着に向け、介護職に就く方の奨学金返済費用を助成している。当事業の対象とならない介護職を独自で助成する他区に倣い区も実施せよ。

答弁 都や他自治体の支援策も参考に介護人材確保の取組を進める。

電動キックボードのルール啓発

質問 電動キックボードのシェアサービスは利便性の高さから利用者が急増しているが、運転マナー

が問題となっている。利用者ルールやマナーの周知を徹底せよ。

答弁 関係所管で連携し、安全性が向上するよう周知に努めていく。

多摩川ランニングコースの整備

質問 区内のランニング人口が増える中、多摩川河川敷が砂利道で走りづらいとの声を聞く。管轄する国が整備を進めないのならば区が占用許可を得て道を舗装せよ。

答弁 占用には課題があり、改善に向けて国との協議を進める。

奥沢駅周辺の図書館機能の整備

質問 私が再三提案してきた奥沢駅周辺の図書館機能の整備に向け、区はようやく、駅から離れた奥沢図書館事務所を駅前に移転する。今後どのように展開を図るのか。

答弁 駅前に移転後、絵本の配架を検討するなど機能の拡充を図る。

子育てしやすい住環境づくり

質問 区内の住宅価格が今以上に上昇すれば、子育て世代の住居の確保は一層困難となる。安心して子どもを産み育てられる世田谷を築くための住環境づくりを進めよ。

答弁 都と連携した住宅施策の拡充に努め、住環境整備を推進する。

子どもの一時預かりの無償化

質問 第二子以降の保育料が都内で無償化されたが、日常的に保育施設を利用していない家庭が一次的に子どもを預ける際の費用は有料のままだ。区独自に無償化せよ。

答弁 財政負担や国の制度との整合など慎重な検討が必要である。

大学の研究への協力的体制の構築

質問 国際競争が激化する今、大規模自治体としてイノベーションに貢献していくべきだ。区が有するデータや施設などを大学の研究につなげられる仕組みを構築せよ。

答弁 区内大学の研究成果が広く生かされるよう連携していく。

一 般 質 問



たかじょう 訓子
(共産)



就学援助の拡充

質問 就学援助で学用品の購入に支給される金額は、物価高騰の影響で実際の購入額と開きがある。教育費に係る保護者負担の軽減に向け実態を把握し支給額を見直せ。

回答 他自治体の動向を注視しながら関係所管で連携し検討する。

保育の質確保に向けた取組

質問 国は保育士の処遇改善に向け給与を引き上げる方針を示した。国が実施した後も、区独自に行う保育士一人当たり月額1万円の助成を継続し、保育の質を担保せよ。

回答 安全で質の高い保育の維持に向け、予算編成の中で検討する。

北烏山7丁目緑地整備の進め方

質問 北烏山7丁目緑地の利活用の際に、樹木の保全や災害時活用施設として公園整備などを望む声が多く聞かれる。子どもを含めた地域住民の声をどこで反映するのか。

回答 ワークショップを開催するなど多世代の声を聞く工夫をする。



あきやま 三郎
(自民)



ACCPの普及啓発

質問 人生の最終段階の医療などに関し家族を含めた関係者で話し合うアドバンス・ケア・プランニングは、最期までよりよく生きる上で大切な取組だ。普及に努めよ。

回答 本人や家族が希望する療養やみとりの実現に向け啓発する。

年収の壁見直しによる区への影響

質問 所得税が発生し配偶者控除などが受けられなくなる「103万円」の壁の見直しが議論されている。仮に基礎控除額を75万円引き上げた場合、区の収入はどのようになるのか。

回答 区の特別区民税は毎年250億円程度の減収となる見込みである。

年収の壁撤廃に伴う事業者の影響

質問 年収の壁には106万円や130万円もあり、撤廃されれば社会保険料の増が雇用主の大きな負担となる。厳しい経営環境にある区内事業者への影響をどう見ているのか。

デジタル教育の今後の進め方

質問 デジタル機器が子どもの学力や視力を低下させることが様々な調査で指摘されている。今後、区はデジタル教材と紙の教科書をどのように取り扱っていくのか。

回答 教員が両方を効果的に使い分けることができるよう支援する。

不登校の子どもを減らす取組

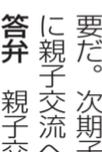
質問 不登校児童生徒を減らすには教員が一人ひとりの子ども向き合える時間を確保し、個々の主体性を引き出す教育を進めることが肝要だ。今後の取組方針を明かせ。

回答 子どもが多様な学びに主体的に取り組む学校づくりを進める。

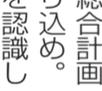
離婚後の親子交流への支援

質問 離婚後も親子関係を維持できる環境を整えることは子どもの健全な成長を支える上で極めて重要だ。次期子ども・若者総合計画に親子交流への支援を盛り込め。

回答 親子交流の重要性を認識しており、計画への反映を検討する。



まえばら たいき
(参政党)



道路事業協力者への支援

質問 次期せたがや道づくりプランでは道路事業協力者への支援をしっかりと盛り込むべきだ。必要に応じて用途地域の変更や道路残地の買収を進め生活再建を支えよ。

回答 権利者の意向を十分に把握し生活再建を第一に事業を進める。

主要生活道路の整備計画の見直し

質問 区は主要生活道路の整備計画を40年以上見直していない。歩道がなく危険な千歳烏山駅から芦花恒春園バス停までの千歳通りを計画に含めるなど見直しを図れ。

回答 現地の状況を踏まえ次期道づくりプラン策定の中で検討する。

地先道路の整備推進

質問 区民の日常生活に最も身近な地先道路の整備が進んでいない。国から移管された畦畔や赤道を地先道路に活用する方針を見直し、より積極的に整備を推進せよ。

回答 畦畔や赤道の位置を考慮するなど実効性の高い計画を目指す。

酷暑に対する区の危機管理体制

質問 熱中症による死亡者が増加しており、酷暑対策は喫緊の課題だ。命にも関わる近年の暑さを災害と捉え、危機管理部門が主導して全庁を挙げた対策に尽力せよ。

回答 危機管理部門を中心とした関係所管が連携して対策に取り組む。

避難所開設時の鍵の管理

質問 発災時に避難所となる学校の開錠に町会が向かう体制は実効性に強い不安がある。鍵の管理を無人化できるデジタルセキュリティキーボックスを各校に設置せよ。

回答 機能や運用面などについて整理し学校と協議する必要がある。

国勢調査に当たる調査員の確保

質問 区は国勢調査の調査員を町会に依頼しているが、負担が大きくなり手不足が課題だ。次回の28年実施に備え、区が一部調査を補うなど調査員の確保に万全を期せよ。

回答 区職員の活用拡大や新たに郵便局などへの協力依頼を行う。



みやか かおり
(立憲)



外国人児童生徒への支援の強化

質問 区立校に通う外国人児童生徒が増加傾向にある。日本語の指導や補習などを行う「帰国・外国人教育相談室」が区内に1箇所しかない現状を鑑み、増設せよ。

回答 対応の強化に向け、規模や機能の拡充について検討を進める。

保護者が相談しやすい環境づくり

質問 保護者が教員の体罰を相談しやすい環境をつくるべきだ。学校、家庭、地域が連携して子ども

激甚化する水害への対策強化

質問 地球温暖化を背景に、風水害の一層の激甚化、頻発化が懸念される。区民を守るため、豪雨時に水害が想定される区域の溢水防止策及び浸水被害対策を強化せよ。

回答 排水施設を増設するなど多方面から浸水被害軽減に取り組む。

早期段階からの認知症対策の推進

質問 認知症の重症化を防ぐには、脳の健康度検査による認知症が疑われる方の早期発見、早期対応が重要だ。医師をはじめとする多職種と連携した支援体制を整えよ。

回答 早期対応への取組の強化に向け医師会などと連携し検討する。

給田幼稚園の跡地利用の見直し

質問 区は給田幼稚園の跡地に区立保育園を整備するとしている。烏山地域で私立幼稚園の閉園が相次ぐ現状に鑑み、幼稚園児も通える認定こども園として整備せよ。

回答 地域事情などを考慮し、子ども施策の方策について検討する。

デジタルポイントラリーの進め方

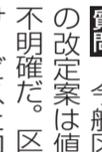
質問 高齢者の健康増進を図るデジタルポイントラリー事業への疑問や改善を求める声を多く聞く。参加者以外からの意見も積極的に取り入れ、事業の改善につなげよ。

回答 介護予防事業の参加者などから意見を聞く機会を創出する。

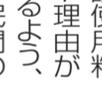
婚活イベント「せた婚」の評価

質問 区は少子化対策の一環として5年度から行政主催の婚活イベント「せた婚」を実施している。実施結果を踏まえ、区は当該事業をどのように評価しているのか。

回答 参加者の満足度が高いことから一定の成果があったと考える。



福田 たえ美
(公明)



区民が納得できる施設使用料改定

質問 今般区が示した施設使用料の改定案は値上げの根拠や理由が不明確だ。区民が納得できるようにサービスとコストの面から民間の施設と比較可能な基準を設けよ。

分園整備による保育待機児の解消

質問 少子化が進む一方で保育希望の割合は増加し、待機児が発生している。北沢、砧地域で始まる1、2歳児対象の認可園分園整備を一層拡大し待機児解消に努めよ。

回答 新規施設の整備を含め、あらゆる手法で定員の確保に努める。

ゼロ歳児の入園調整の拡大

質問 ゼロ歳児クラスは年度前半の欠員が多いが徐々に埋まるため、後半は高指数でも入園できず不公平な状態だ。7年度からの前後半の入園調整を私立園にも拡大せよ。

回答 運営費面に課題もあり区立園の実施状況を踏まえて検討する。

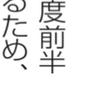
男性のHPVワクチン接種の周知

質問 2024年10月から男性のHPVワクチン接種への全額補助が始まったが、医療現場からは区の周知不足を指摘する声を聞く。補助対象者に伝わるよう周知を徹底せよ。

回答 区ホームページなどの内容を見直し効果的な周知に努める。



若林 りさ
(維新)



子育て世代への応援事業の改善

質問 出産・子育て応援事業は、応援ギフトの支給までの手続が煩雑かつ長期間にわたり大変不便だ。

回答 子育て世代が必要とする時期に受け取れるよう手続を簡略化せよ。

補助金を活用した動物施策の充実

質問 区は人と動物との共生社会の実現を目指す活動への補助事業を開始した。本事業の普及に努め、保護猫や飼育放棄などの課題解決に向けた地域活動を後押しせよ。

回答 動物連絡員などと連携し動物と共生する地域の形成に努める。

福祉職の魅力発信

質問 デザイン性の高い写真を用いて介護職の魅力を広報する「介護プライド」は人材確保に大きく寄与している。この取組を他の福祉職にも拡大して魅力を発信せよ。

多文化共生に向けた区の姿勢

質問 多文化共生の推進条例を制定してから6年だったが、いまだ区からは真刻に取り組む姿勢が感じられない。区長が中心となり組織全体に条例の理念を浸透させよ。

回答 職員の異文化への理解を促し、条例の理念を浸透させていく。

区史編さんの透明性の確保

質問 区史編さんにおいては誰がどの文章を作成したのかを明らかにするとともに、著作権などの取り扱いを執筆者としっかり確認することが重要だ。今後の対応を示せ。

回答 著作権などを尊重した内容の契約を執筆者と結ぶ必要がある。

松原地区の交通安全対策の強化

質問 松原地区を南北に通る松原大山通りなどは子どもの通学時間帯に多くの車両が通り大変危険だ。横断歩道の設置や制限速度を20kmに下げるといった安全対策を講じよ。

回答 北沢警察署への要請を含め、更なる安全性の確保に努める。



オルズグル
(立憲)



